

グラビア	地域を支える人 室 浩一・長崎県佐世保市	1
発掘！地域の希望のタネ	栃木県那珂川町 〈あゆ魚醬漬け あゆ兵衛〉	5
給食のじかん	〈松花堂弁当〉京都府八幡市	小島幹人 6
特集解題	どう変わる？ 2018年度予算	8
焦点	診療報酬改定の動向とその影響	福井 淳 10

特集

## どう変わる？ 2018年度予算

解説	常態化する一〇〇兆円予算、膨張する歳出 集中改革期間最終年度の二〇一八年度予算	財政問題研究会	18
解説	二〇一八年度地財計画と地方財政	飛田博史	26
	人口減少時代の自治体財政のあり方 プロジェクト 概要報告	自治労本部 PT事務局	37
	地方公会計システムを行政運営に生かす —熊本県宇城市	天川竜治	43
	国保の広域化がよいよスタート —構造的問題は解決するか	好野祐司	50
	日銀の大規模金融緩和がもたらす副作用とリスク	金融財政研究会	56
連載ルポ	「旧町村部」を歩く 第6回 愛知県豊田市田足町町など(後編)	坂本 誠	63
連載	『月刊自治研』を読む〈第三季〉②「地方の時代」と八〇年代	篠田 徹	69
各県自治研活動レポート	自治研活動をベースに県に政策提言 —自治労福島県本部	坂内孝浩	74
連載	まちゆうき！ 土佐自治研② 楽しみながら仲間とともに、いざ自治研!	福富真子	76
	追悼 宮下忠安さん	大場敏彦+村松 帝	78
	次号予告・編集部から		80

# 2018年度自治体予算

## どう変わる？

常態化する一〇〇兆円予算、膨張する歳出

政策の看板が掛け替えられても、実体経済はなかなか強化されない。二〇一八年度予算の方向性と懸念される点とは？  
(本誌一八頁)

財政論から逃げないための自治体戦略

税負担に対する忌避感が強いなか、財源不足の現状を打破するための方策とは？「自治体の連帯」によって、潜在的な「二一」を普遍的に満たす。—自治労PTの導き出した戦略を概観する。(本誌三七頁)

国保の広域化がよいよスタート!

二〇一八年度からはじまる国保の広域化。運営主体に都道府県が加わることで想定される課題とは？(本誌五〇頁)

大規模金融緩和がもたらすもの

いまだ出口戦略の描かれていない、日銀による金融緩和と政策。その副作用とリスクとは？ 金融市場への悪影響は自治体に何をもちたすのだろうか。(本誌五六頁)

二〇一八年度地財計画と地方財政

二〇一八年度の地財計画、歳入・歳出それぞれの特徴とは？ 国による財源水準の設定を、自治体としてどう評価すべきか。(本誌二六頁)

地方公会計システムを行政運営に生かす

施設・インフラの更新需要が迫るなか、公会計情報を資産管理にどう活用しているか。一〇年にわたる取り組みで基金残高を回復させた熊本県宇城市の事例に着目！(本誌四三頁)

消費増税で得られるはずの財源を、早くも一部用途変更すると宣言した安倍首相。社会保障費を中心に歳出需要が膨らみ続けるなか、プライマリーバランス黒字化への道はさらに遠ざかる一方だ。二〇一八年度予算と地方財政計画の分析から、国・自治体の行方をうらなう。